



日本への留学生（左から 2 人目）と懇談する学生と教員 = 3 号館

### 留学生と語る会

## 国情の違いに 理解深める 英語で質疑も

金沢学院大学文学部主催の第十一回留学生と語る会は二月十六日、3号館視聴覚教室とカフェテラスで開かれました。ブラジル、中国などを母国とする留学生と懇談した本学学生らは、国情の違いなどに理解を深め、英語力の向上に努めました。

訪れたのは、ブラジル出身のマーセロ・マシャードさん、コートジボアール出身のアカ・エブケルさん、中国出身の姜丞丞さんの三人です。

はじめに視聴覚教室で、留学生三人が地図や写真を見せながら母国の地理、歴史、経済の現状などを説明しました。アカさんは祭りやイベントで着用する伝統的な衣装を持参し、学生が試着しました。

カフェテラスでの懇談では、説明では分からなかった地域間の経済格差や農業の問題、家族構成などについて英語で質疑する学生もいました。日本語が堪能な姜さんは、中国の経済発展や観光地についての質問に日本語で答えました。

### 卒業記念品ありがとう

#### 大学・短大に分煙機 東高校は中庭の時計

金沢学院大学、金沢学院短期大学の平成十五年卒業生から卒業



寄贈された分煙機 II 4号館

記念品として分煙機が寄贈され、2号館1階と4号館1階の喫煙コーナーに設置されました。金沢東高校卒業生からは時計が寄贈され、同校中庭に設置されました。



寄贈された中庭の時計 II 東高校

### 数理的思考と一般常識を 就職試験対策講座に140人

金沢学院大学・金沢学院 短期大学の就職試験対策講座は二月十六日から二十日まで学内で開かれ、公務員試験や民間企業への就職を



数理的な考え方の演習で解答を書く学生 II 4号館

目指す大学三年生、短大一年生の合わせて約四百四十人が受講しました。学生にとっては厳しい就職戦線が続いていることを反映して、受講した学生の表情は真剣そのものでした。

講座では、面接試験での自己表現方法に始まり、新聞を読んで政治、経済、社会関係の一般常識を豊富にする手法や、現代文読解、漢字語句の常識、論文・作文演習、さらに数理的な考え方を鍛える問題の解き方などに五日間で延べ二十一日間にわたり取り組みました。最後に理解度を確認するテストも行われました。

### 能楽部が発表会

金沢学院大学能楽部の第八回能楽自演会は二月二十一日、石川県立能楽堂で開かれ、部員六人がOB、OGの応援も得て素謡、仕舞、舞離子六番を披露しました。

このうち舞離子「吉野静」写真では、四年生の伊藤郁美さんが、源義経を吉野山から逃がすために義経の武勇を語ったという静御前の舞を披露し、学生生活最後の舞台を締めくくりました。



### 3月20日に公開講座

金沢学院短期大学の公開講座「太陽紫外線とからだ」は三月二十日午後一時半から、金沢市の北國新聞会館で開かれます。入場無料。申し込みは往復はがきで短大セミナー係まで。

### 発行・広報室